

あぐいめ～る新川

第94号(令和4年3月発行)
富山県新川農林振興センター
〒938-0801 黒部市荻生 3200
(TEL) 担い手支援課 (0765) 52-0268
(0765) 52-5192
農業普及課 (0765) 52-0094
(0765) 52-0945
(FAX) (0765) 52-3115

新川 農業の未来を担う人 ～第39回～ 中川 誠 氏 (入善町)

～ 入善町の農業のけん引役 ～

中川誠さんは建設業に従事されていましたが、入善町に若い農業者がたくさんいることが後押しとなり、農業を志すこととしました。2年半ほど地元の農業法人に勤めて技術習得した後、平成27年に独立して農業を始めました。現在は集落でのブロックローテーションにより作付地の団地化を図るなど、柵山地区の担い手として活躍されています。

今年度は水稲 8.3ha、大豆 9.9ha、にんにく 10a を栽培されました。米価の下落が叫ばれる昨今ですが、大豆の面積と収量を確保することで経営の安定をめざしておられます。また、新しくにんにくの栽培に挑戦するなど意欲的に営農を展開されています。



～ 地域の信用を大事に ～

中川さんは「自分のほ場を他の誰よりもきれいにする」というポリシーを持ってほ場管理をされています。一人作業で忙しい中でもそのポリシーを守っていることもあり、地域から厚い信頼があります。

また、にんにくを活用した商品開発に取り組むなど、将来の6次産業化に向けた活動も行っておられます。

地域では、JA みな穂青壮年部の委員長を務め、入善町の若い農業者とともに保育園の節分行事に携わるなど、地域振興に貢献されています。今後も入善町の農業をけん引する若き農業者の一人として、益々の活躍が期待されます。



大豆の生育を確認する中川さん

- P. 2、3 … 令和4年産 稲作の重点技術対策 ～気象変動に備えた稲づくり～
- P. 4～6 … 園芸作物栽培のポイント ～春編～
- P. 7 … BCP (事業継続計画) 作成のすすめ ～もしもの時に備えて～
- P. 8 … スマート農業：ドローンの導入効果について
- P. 9 … ～ドローンを所持されている方へ～ ドローンの登録が義務化されることをご存じですか？
- P. 10～11 … ～栄えある受賞おめでとうございます～
- P. 12 … 野生鳥獣を捕獲するには

令和4年産 稲作の重点技術対策 ～気象変動に備えた稲づくり～

新川地域における令和3年産のうち玄米1等比率は96.6%(1月末時点)と県平均の93.5%(11月末時点)を上回りました。しかし、生育初期や登熟期間中の気象条件が影響し、穂数が少なく、1穂粒数が過剰に多い穂重型の稲体になったため、屑米が多く、単位面積当たり収量は平年に比べ少なくなりました。

気象変動に左右されず、安定的した収量と高い品質を確保できる稲づくりのため、「土づくりの実施」と「初期茎数の確保」に努めましょう。

対策のポイント1：土づくりの実施

「土づくり」は作物生産に欠かせない作業であるにもかかわらず、短期的には効果が実感しにくく、省力化やコスト削減を優先し、ついおろそかになりがちです。そのため、近年の土壌分析ではカリ・ケイ酸・鉄分が不足しているとの結果がでており、このことが要因と考えられる「ごま葉枯病」(写真1)の発生が目立ってきました。

また、令和2年産コシヒカリに多く見られた「割籾」(写真2)は、ケイ酸の施用が少ないほ場ほど発生しやすく、「斑点米カメムシ類」(写真3)の被害を助長します。

このような田んぼのSOSを見逃さず、早急に「土づくり」に取り組みましょう。



写真1 ごま葉枯病の病斑



写真2 割籾 (円内)

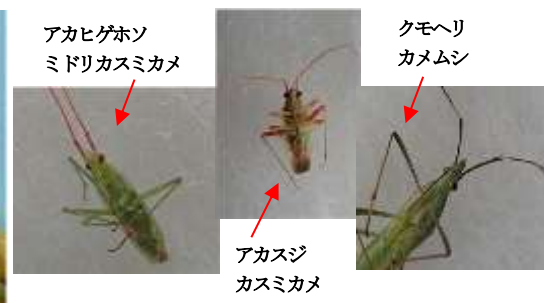


写真3 斑点米カメムシ類

(1) 土壌改良資材や有機物の施用

昨秋に土壌改良資材を散布していない場合は、春の耕起前に必ず散布するとともに、積極的に堆肥等の有機物施用に努めましょう。

ポイント1：土壌改良資材の施用

土壌酸度の矯正や不足養分の補給のため、ケイ酸質資材などの土壌改良資材を施用する。

ポイント2：有機物の施用

腐植含量の増加や物理性の改善のため、堆肥や発酵鶏糞などの有機物を施用する。

(2) 作土深の確保と排水性の改善

作土を深くすることで、根量が増大し、養分の吸収量が増え、気象変動に強い健全な稲体になります。春の耕起はほ場の乾いた状態で、トラクタの速度を落としてゆっくりと行い、作土の深さを15cm以上(現状より3cm深く)確保しましょう。

対策のポイント2：初期茎数の確保

(1) 健苗育成

① 5月中旬田植えの育苗日数は19日以内

育苗日数が長くなった老化苗は初期分けつが発生しにくく、初期茎数が十分に確保できません。また、近年の育苗期間の気温は高温多照傾向にあることから、育苗日数が19日でも、十分な根張りが確保できます。老化苗とならないように、早い浸種や播種日に注意し、適切な育苗計画を確認しましょう。

(育苗計画の目安)

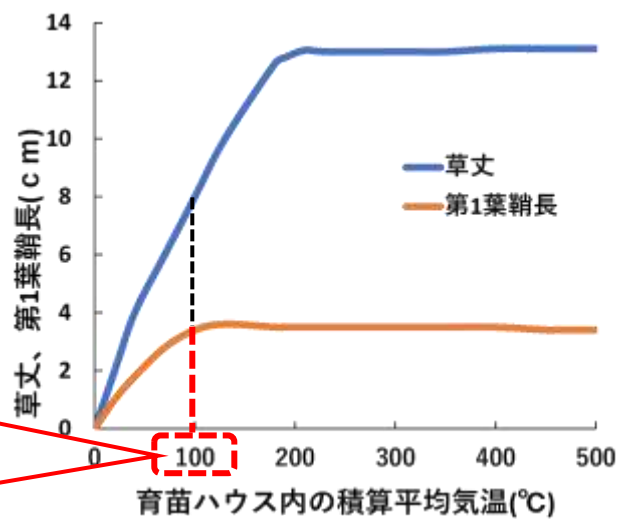
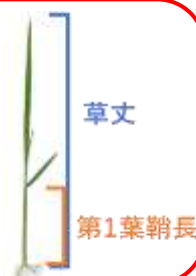
浸種日	播種日	田植日	(育苗日数)	出穂期
4/8 頃	4/19 頃	5/10	(21日)	8/1 頃
4/17 頃	4/26 頃	5/15	(19日)	8/4 頃
4/25 頃	5/3 頃	5/20	(17日)	8/7 頃

② 積極的な換気による温度管理の徹底

ハウスへの搬出直後は、ア)かん水の実施、イ)寒冷紗による被覆、ウ)換気の徹底を行います。

また、緑化期から硬化期を通して25℃以下になるように、積極的に換気を行きましょう。

第1葉鞘長が伸長するのは、積算気温100℃となるハウス搬出後4～7日までです。ハウス搬出7日後からは、常時換気をこころがけ、ガッチリとした苗に育てましょう。



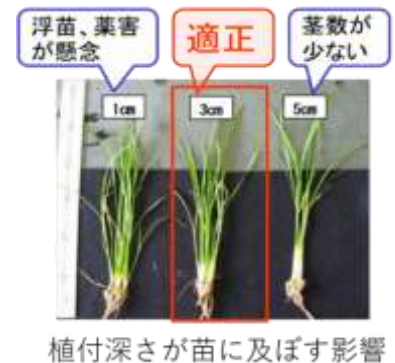
(2) 適正な田植作業と水管理

① 栽植密度70株/坪、植付深さ3cmの遵守

茎数、穂数を確保するため、栽植密度は70株/坪としましょう。近年、深植傾向となっていますが、植付深度が大きいと、初期分けつの発生が遅れてしまいます。植付深さ3cmを徹底しましょう。

② 深水管理から浅水管理へ

田植え直後は苗が水没しない程度の深水管理を行い、活着後は水深3cmの浅水管理で、分けつの発生を促しましょう。



植付深さが苗に及ぼす影響

(3) 溝掘り・中干し

稲体を維持する「直下根」は田植後4週間頃に伸長します。6月上旬頃に溝掘りを行い、田植後4週間までに中干しを開始し、根を伸長させましょう。



作業時の安全確認と事故予防対策をお願いします。

～トラクタの安全運転～

- ・安全キャブやフレーム付きのトラクタを使用し、シートベルトを装着しましょう。
- ・ほ場から退出するときには、左右ブレーキの連結を確認しましょう。
- ・反射板や低速車マークを、作業機を装着しても見える位置に貼付しましょう。

園芸作物栽培のポイント ～春編～

経営の複合化品目として、白ねぎの定植、旧盆切り花のほ場準備と定植、小粒いちじく（水稲育苗ハウス利用の根域制限栽培）の挿し木等のポイントを紹介します。

1 白ねぎ ～定植～

(1) 定植苗の管理

- ①定植適期の苗は「草丈20cm程度」、「葉数2～3枚」、「葉鞘径（太さ）2～3mm」です。遅れないように定植します。
- ②4/20頃までに定植する苗は、定植の10日前程度から、ハウスサイドを開け、外気に慣らしませ（霜注意報が出ている場合は閉めます）。

(2) 定植前後の作業

①定植前除草

- ・定植の5日前までにラウンドアップマックスロードを散布して、発生している春雑草を除草します。

②土壌改良資材施用

- ・定植の7～10日前に、石灰資材＋完熟堆肥資材を施用します。

③排水対策

- ・ほ場に、額縁排水溝(深さ25cm以上)、簡易暗渠を設置します。
- ・植え溝は、額縁排水溝につながります。ただし、隣接する上の水田からの漏水が懸念される場合は水の逆流を防ぐため、あぜ下の額縁排水溝の植え溝をつなぎません(写真1)。
- ・植え溝の長さが50m以上の場合は、溝の途中で横排水溝を1本以上設置し、額縁排水溝につながります。

④耕起：原則、耕起は当日に定植する面積分のみ、低速走行＋高回転耕起を2回以上行います。

- ・耕起時の碎土率（土の細かさ）が生育期の最後まで影響します。

⑤苗消毒

- ・定植前に、萎ちょう病の予防のためにトリフミン水和剤で苗消毒します。

⑥植え溝切り

- ・定植直前に、植え溝(深さ15cm程度)を真っ直ぐに切ります。

⑦施肥

- ・定植前の植え溝に、基肥一発肥料（「なっちゃんエース」もしくは「あきちゃんエース」）を丁寧に、ムラなく施用します。

※8～9月出荷は「なっちゃんエース」を施用し、10月以降の出荷は「あきちゃんエース」を施用します。

⑧殺虫剤の施用

- ・施肥後、植え溝に殺虫剤を施用します。
- ・4月定植分は、ダイアジノン粒剤5を施用し、5月以降の定植分は、ダイアジノン粒剤5にアザミウマ・ハモグリバエ対策用の殺虫剤を施用します。

⑨定植

- ・ひっぱりくん(定植器具) (写真2)を使用します。
- ・1箱の苗箱で約13m定植できるので、事前に補給用の苗箱を植え溝の横に13m間隔で配置します。

⑩手直し

- ・定植後、根の活着を促進させるため、ペーパーポットが露出しないようにしっかり土をかけます。

⑪定植後除草（雑草発生前）

- ・定植後（定植10日後まで、1回のみ）ゴーゴーサン細粒剤Fを丁寧にムラなく全面散布します。※ゴーゴーサン乳剤も白ねぎに使用できます。



写真1 額縁排水溝と植え溝
※赤線部分とはつながない



写真2 ひっぱりくん

2 旧盆切り花 ～ほ場準備と定植～

3月から5月にかけて、旧盆切り花のほ場準備と定植を行います。

(1) ほ場選定のポイント

①日当たり良好 ②排水良好 ③かん水できる(水の便がよい) ④連作していない、という条件が揃っている水田転換畑が、もっとも栽培に適しています。ただし、アスターは連作障害が発生しやすいので、5年以上の作付け間隔が必要です。

(2) 施肥のポイント

土壌pHは6.0前後が最適で、pH5.5～7.0の範囲とします。

表1 施肥設計例(kg/10a) ※ヒマワリは無施肥です。

肥料の種類		基肥	追肥 ※1
石灰資材		100	
小ギク	有機ペレット(5-5-5)	340	
	野菜の達人	—	15 kg/10aを2回
アスター	有機ペレット(5-5-5)	250	
ケイトウ	野菜の達人	—	2kg/10aを2回
	ホストップ(1000倍葉面散布)	—	定植10、20、30日後で計3回
シンテッポウユリ	ジシアン555 ※2	100	

※1 追肥は、生育・葉色を見て適宜施用する。

※2 基肥を有機ペレット555とした場合、6月上旬にIB化成S1号 20kg/10aを追肥する。

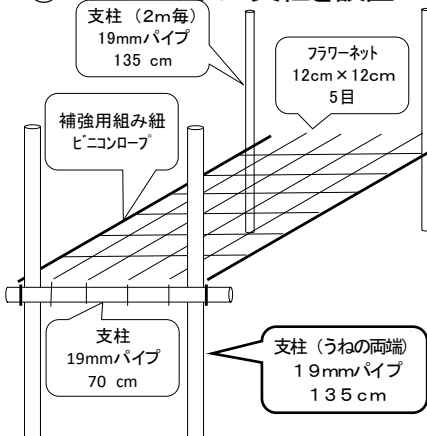
(3) うねづくりのポイント 耕起からうね立てまでは1日で行う!

切花栽培のうねの長さは20～25mです。

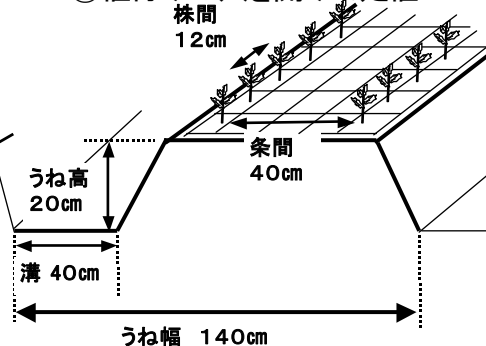
- ①140cm 間隔で紐を張る ②うね立整形機または培土機でうね作り(うね天面が70～80cm) ③マルチを張り、溝中央の土で押さえる※黒マルチ幅:150cm



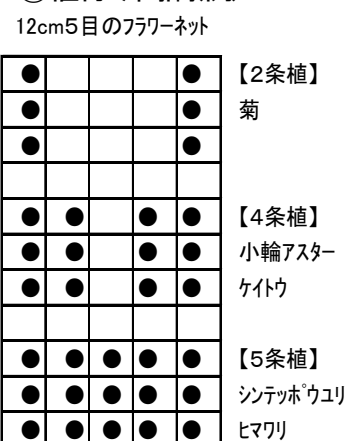
④フラワーネット・支柱を設置



⑤植付けの穴を開けて定植



⑥植付け間隔(例)



(4) 定植日(播種日)

⑥の植付け間隔(例)を参考に定植します。シンテッポウユリ 4/25 (1/10)、小ギク 5/5、アスター5/10 (4/13)、ケイトウ 5/20 (5/1)、ヒマワリ 6/1 直播

3 小粒いちじく（水稲育苗ハウス利用の根域制限栽培）～挿し木、施肥、かん水、主枝の誘引～

(1) 挿し木（写真3）

- ・挿し木は、3月～4月に実施します。
- ・挿し木用の穂木は、剪定した枝の中から、見た目が茶色い充実した枝を選び、冷蔵庫で保存しておきます。
- ・容量45ℓのコンテナに、不織布を敷き詰め、用土（水田土：バーク堆肥：パーライト＝1：1：1）を入れます。
- ・穂木は、挿し木時に10cm程度に切り、先端の1芽のみ地上部に出して挿し、切り口に保護殺菌剤を塗布して保護します。（短期間で収量を確保するため、1コンテナあたりに2本の穂木を挿します。）
- ・挿し木後、コンテナの底から水が流れ出るまでたっぷりかん水します。



写真3 挿し木

(2) 施肥

挿し木：発根していないため基肥は施用せず、展葉後に追肥で対応します。

成木：発芽前後に基肥一発肥料（エコロングトータル391、180日タイプ）を300g程度/コンテナ施用します。

(3) かん水

挿し木：挿し木後2ヶ月ほどは、ほとんど根が発達していないため、挿し木周辺の用土が乾かないよう、こまめにかん水を行います。

成木：果実をつける結果枝を1.5mほどまで伸長させる必要があるため、発芽前後からこまめにかん水し、生育前半にしっかりと新梢を伸ばします。

(4) 主枝の誘引（成木）

- ・展葉し樹体に水が回り始めてから、主枝長が1mを確保できた主枝は水平に誘引し、主枝長が1m以下の主枝は仰角45度程度に誘引します。一度に水平に誘引できない場合は、2回に分けて徐々に水平にします（写真4）。



写真4 主枝の誘引

一部の果樹登録品種の「自家用の栽培向け増殖」は有償制になります

種苗法の一部改正により、令和4年4月1日から、「自家用の栽培向け増殖（自己の農業経営用に成木から採った穂木を接ぎ木や挿し木として利用する行為）」に権利者の許諾が必要となります。

対象となる品種、許諾料、申請方法等、詳細は、農研機構のHP <https://www.naro.go.jp/collab/breed/permission/index.html> をご覧いただくか、農林振興センターにお問い合わせください。

また、この許諾は自家用の栽培向け増殖に係るものであり、増殖した種苗の他者への譲渡（有償・無償に関わらず）を許諾するものではありませんのでご注意ください。



農研機構：自家増殖の許諾に係るHP

BCP（事業継続計画）作成のすすめ ～もしもの時に備えて～

近年、日本各地では地震や異常気象に伴う豪雨等、大規模な自然災害が頻発しており、管内でも令和2年から3年かけての冬季の大雪では、ハウス倒壊等の被害がありました。また、新型コロナウイルス感染拡大により従業員が出勤できない状況も考えられる等、農業経営は日々様々なリスクにさらされています。

このため、日ごろから「もしもの時」に備えておくことが大切です。

BCP（事業継続計画）とは

自然災害や感染症、大事故が発生した場合でも、**中核となる事業を継続**させたり、**可能な限り短時間で事業を復旧**させたりするための方法や手段をあらかじめ決めておく計画のことです。

BCP作成にあたって

BCPは、皆さんが普段行っている災害対策等（リスクマネジメント）の延長で、難しいものではありません。まずは、「**何ができていて、何ができていないのか**」を「見える化」して把握することが重要となります。

また、計画を策定したら、**経営体内で共有し、定期的に見直す**ことが大切です。

【BCP作成の手順】

- Step1. 基本方針の決定**
(何のために策定するか)
- Step2. 重要業務・目標復旧時間を決める**
(どの順番で復旧するか)
- Step3. 被害状況とその影響の想定**
(今のままでとどんな被害があるか)
- Step4. 事前対策の検討**
(どんな対策をとるか)
- Step5. 緊急時の体制の検討**
(誰が、何をやるか)

農林水産省では、「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト」と「農業版BCP（事業継続計画書）」のフォーマットを耕種用、園芸用、畜産用の3種類に分けて公開していますので、是非活用・作成し有事に備えましょう。



こちらのQRコードから
農林水産省のHPをご覧ください

農業版BCP

検索

農業版事業継続計画書			
作成・改定日	作成者・担当部署	作成日	作成場所
2021年4月1日	担当部署	2021年4月15日	2022年4月1日
1. 基本方針			
1. 基本方針			
2. 重要業務と目標復旧時間			
3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)			
4. 事前対策の実施状況			
5. 緊急時の体制			
【初動対応フェーズ】(発生:緊急事態発生～24時間以内)			
【事業継続フェーズ】(発生:初動対応完了後～)			

BCPの作成例

スマート農業：ドローンの導入効果について

近年、防除作業の時間短縮を目的として導入されているドローンの導入効果を明らかにするためラジコン動噴（以下「RC動噴」、背負式動力散布機（以下「動散）」との比較により、作業時間、防除効果、散布費用の観点から調査・検証を行いましたので、その結果を紹介します。

○ドローン導入効果の調査・検証結果

(1) RC動噴及び動散防除との作業時間を比較した結果、ほ場内での作業時間はドローンが最も短くなりました(表1)。

※作業時間：作業員又は使用農機が20~30a 区画のほ場に入場してから退出するまでの防除時間を20haに換算

(2) 防除後6日目に、本田のすくい取り調査を実施したところ、いずれのほ場においてもカメムシは捕獲されませんでした。

また、調査ほ場の玄米に斑点米の混入はみられず、ドローンによる防除は、他の防除機械と同等の効果が認められました(表2)。

(3) 散布面積と費用(薬剤費+減価償却費)について検証した結果、10ha未満ではドローンの費用が大きいものの、10ha以上で動散より小さく、20ha以上でRC動噴より小さくなりました。ドローンの導入費用は200万円以上と高額ですが、一定の利用規模面積を確保することで、コストの低減効果が期待できます(図1, 2)。

表1 防除機械別のほ場内作業時間結果

防除機械	作業時間/20ha
ドローン	3時間9分
RC動噴	12時間46分
動散	4時間44分

表2 防除機械別のカメムシ防除効果

防除機械	カメムシ捕獲頭数 (頭)	斑点米割合 (%)
ドローン	0.0	0.0
RC動噴	0.0	0.0
動散	0.0	0.0

※カメムシ捕獲頭数は、本田20回すくい取りによるもの

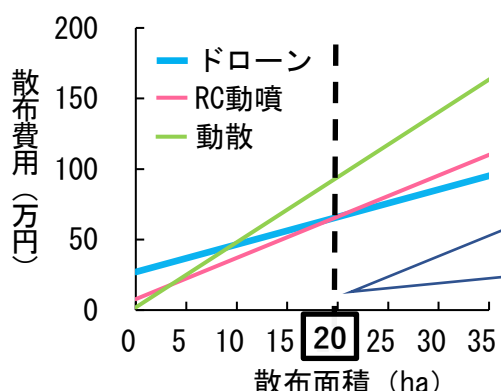


図1 散布面積と費用

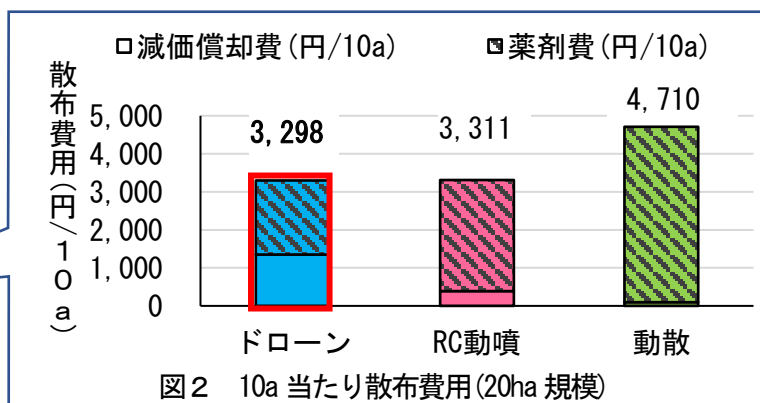


図2 10a 当たり散布費用(20ha 規模)

※黒部市内防除指針(本田2回防除)に基づいて試算

上記の調査・検証結果をまとめると、

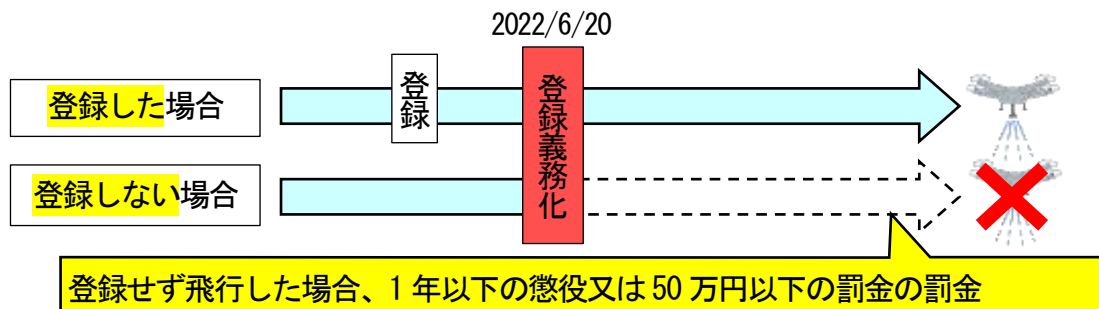
- ① ほ場内の作業時間が短くなる
- ② 防除効果は他の防除機械と変わらない
- ③ 利用面積を増やすとコスト低減が期待できる

ということがわかりました。今後、ドローンを導入する際には十分留意してください。

～ドローンを所持されている方へ～
ドローンの登録が義務化されることをご存じですか？

航空法の改正により、2022年6月20日以降、ドローンやラジコン機などの重量100g以上の無人航空機の登録が義務化され、無人航空機の飛行に機体登録が必要になります。

また、2022年6月20日以降に登録した無人航空機を飛行させるには、リモートIDの搭載が必要です。しかし、事前登録期間（2022年6月19日まで）に登録申請を完了した場合は、リモートIDの搭載は必須ではなくなります。そのため、2022年6月19日までの登録を推奨します。



○登録方法について

ドローンの登録手続きには、オンライン申請あるいは書面申請が必要です。詳しくは下記のQRコードから確認してください。申請には、本人確認書類（運転免許証や健康保険証、マイナンバーカードなど）が必要です。また申請を完了するには、新規登録申請、登録手数料納入、登録記号発行と段階を踏んだ手続きが必要になります。必要書類をしっかりと確認したうえで、余裕をもった手続きをお願いします。

なお、既存のDIPS（ドローン情報基盤システム）やFISS（飛行情報共有システム）のアカウントでは申請できません。ドローン登録システムでの新規アカウント作成が必要なのでご注意ください。

期限末にはシステムの混雑が予想されます。春の作業で忙しくなる前に、早めの登録をお願いします。

オンライン申請はこちら
ドローン登録システム



書面申請はこちら
国土交通省 HP



登録義務化に関する情報はこちら
無人航空機登録ポータルサイト



～栄えある受賞おめでとうございます～

富山県功労表彰



黒部市 有限会社林農産
(写真は、林 代表取締役)

全国豆類経営改善共励会・北陸農政局長賞



入善町 農事組合法人はるか
(写真は左から、眞岩監事、舟渡代表理事、眞岩理事、藤田理事)

富山県農村文化賞



魚津市 農事組合法人かかやき営農組合
(写真は左から、高島理事、西村所長、高橋代表理事、川上理事)

富山県農林漁業振興会表彰



黒部市 愛菜畑
(写真は左から、大川会計、手塚代表)

とやま地産地消優良活動賞



入善町 おいしいやさい部
(写真は左から、森下代表、四十物部員)

農業電化推進コンクール表彰



朝日町 有限会社チュリストやまざき
(写真は、山崎代表取締役)

富山県農業振興賞・ワクワクとやま農林水産奨励賞

【魚津市（JA うおづ）の受賞者の皆様】



写真は左から、
園芸部門・個人 松本謙介 さん
麦部門・集団 (農)東花営農組合 坂本代表理事
指導者部門 木下 真 さん

【黒部市(JA くろべ)の受賞者の皆様】



写真は左から、
米部門・個人 飯田光浩 さん《全国米麦改良協会会長賞》
農産加工部門 (株)大地農産 小谷代表取締役

【入善町・朝日町（JA みな穂）の受賞者の皆様】



写真は左から、
園芸部門・集団 みな穂白ねぎ出荷組合 大野組合長 (入善町)
ワクワクとやま農林水産奨励賞 谷口 勝芳 さん (入善町)
複合経営部門 (農)ウワダ 上田代表理事 (入善町) 《農林水産大臣賞》
米種子部門・個人 浦瀧 登 さん (入善町)
大豆部門・個人 中川 誠 さん (入善町)
指導者部門 小路 満 さん (入善町)
米部門・集団 (農)かなやま 清水代表理事 (朝日町)

写真のほか、指導者部門で柳澤伸一さん(朝日町)が受賞されました。

今後の益々のご活躍をご期待申し上げます。



野生鳥獣を捕獲するには

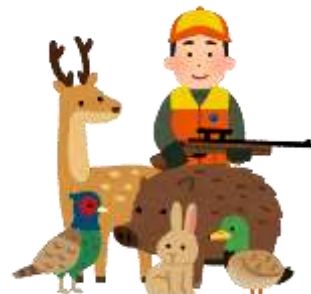
野生鳥獣の捕獲については、鳥獣保護管理法の規制により被害を受けている当事者であっても家ネズミ等を除いて、県知事や市町村長等の許可又は狩猟者登録が必要です。誰が何をどこで捕獲するか、またその理由によって必要な要件や捕獲方法等が異なり、その概要は次のとおりです



水稻のイノシシ被害



はこわなによる捕獲



	鳥獣被害を受ける農林業者		市町村が編成する実施隊	個人（狩猟）
区 域	自らの事業地内 (所有農地・借地、業務受託農地)		被害発生地域及びその隣接地 (必要かつ適正な区域)	狩猟者登録した都道府県の猟場
捕獲理由	被害防止のための有害鳥獣捕獲			問わない
期 間	許可された期間(通年可能)			11/15～2/15***
捕獲対象	イノシシ、ニホンジカなど、すべての鳥獣	アライグマ、ハクビシン等の小型獣類、鳥類*** (ヒナと卵は原則捕獲禁止)	すべての鳥獣	狩猟鳥獣 (鳥類 28 種 獣類 20 種)
要 件	自身によりとめ刺し、捕獲個体の適切な処分ができること* (とめ刺し…捕獲された野生動物の「とどめ」をさすこと)		原則当該市町村に居住する者 前年度狩猟者登録を受けた者、又は 当年のフォローアップ研修受講者 [銃器による捕獲： 3年以上の銃猟経験を有する者]	当年の狩猟者登録 (捕獲許可は不要)
捕獲方法	囲いわな	小型のはこわな 手捕り	銃器、網、わな(はこわな、くくりわな、囲いわな) (法定猟法)	
狩猟免許	無くてもよい		捕獲方法に応じた狩猟免許の取得が必要	

※ 市町村が、とめ刺しや捕獲個体の引取りを行う場合もあり

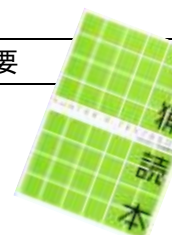
*** 被害防止のための捕獲や採取は、知事の許可が必要

*** イノシシとニホンジカは、11/1(わな猟)～3/31(わな猟・銃猟)に延長

○農作物被害が発生したら

加害獣種を確認したうえで、まずは、市町の担当課へご相談ください。小型のはこわなの貸し出しを行う他、電気柵やワイヤーメッシュ柵等の侵入防止柵の設置補助の支援を行っています。

魚津市／農林水産課（農産振興係）
黒部市／農林整備課（有害鳥獣対策係）
入善町／がんばる農政課（農政係）
朝日町／農林水産課（農地林務係）



狩猟や有害捕獲の
市町窓口はこちら



○狩猟免許を取得してステップアップ！

自らの農地や農業、地域の暮らしを守り、ジビエの楽しみもある「狩猟」を行うには、猟法に応じた免許が必要です。イノシシ等大型獣の捕獲は危険が伴い、専門的な知識と技術が必要です。狩猟免許試験は、概ね、6月、8月、2月の年3回実施されます。申請窓口の当センター企画振興課（魚津総合庁舎 3F ☎22-9136）では、皆様のチャレンジをお待ちしています。